

就職指導の改善に関する研究計画書

学校名		北海道 伊達開来 高等学校				
1 就職に関わる学校の状況						
	卒業者数	就職希望者数	就職内定者数	就職未内定者数	内定率	進路未決定者数
令和4年度(3月末)	84	28	27	1	96.4%	1
令和3年度(3月末)	82	23	23	0	100.0%	0
令和2年度(3月末)	92	36	36	0	100.0%	0
2 研究課題への取組概要						
(1) 就職後3年以内に離職する早期離職の改善のための就職後の生徒に対する支援						○
<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当する卒業生にアンケートを実施し、課題を整理するとともに、関連企業へのアンケートを分析し、卒業生の勤務状況等を把握し、該当の卒業生が必要なスキルを身に付ける支援を講じる。</li> <li>・就職した卒業生への定期的な面談方法等、個別支援の在り方を研究する。</li> </ul>						
(2) 就職未内定又は進路希望を設定できないまま卒業した生徒に対する支援						○
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年担任と進路指導部で連携して当該卒業生の状況を把握し、進路実現に必要なスキルを身に付けて就職活動に臨めるよう、個別支援のための組織体制を整える。</li> <li>・関係機関と連携し、当該卒業生に適する企業開拓及び就職支援を行う。</li> </ul>						
(3) 新規高等学校卒業者に係る就職慣行(いわゆる「一人一社制」)に関する状況の把握						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一社制について、憲法等の授業に関連して生徒への理解を深める。</li> <li>・11月頃に、就職者の探究学習を通して、状況の確認と就職者の意識を調査する。</li> </ul>						
(4) その他、就職指導を改善・充実するための教育活動に関する取組						○
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年担任と進路指導部で連携して当該卒業生の状況に応じた個別支援のための組織体制を整える。</li> <li>・生徒が自己理解を深め進路決定するため、個別面談においてキャリアパスポート等を活用する。</li> <li>・進路指導室のICT環境を活用した、資格取得等の効果的指導法や書類整理について研究する。</li> </ul>						
(5) 上記(1)(2)(3)(4)に係る成果の普及						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内の進路研究協議会において、調査研究の結果を報告し、成果の普及に努める。</li> <li>・学校Webページに成果報告書を掲載する。</li> </ul>						
※ ○は重点課題を示している						
3 年間計画						
月	内容	主な取組	月	内容	主な取組	
4月	関係企業との連携	(1)	10月	課題の整理と分析	(1)	
	卒業した生徒の実態把握	(3)		研究協議会での報告準備	(5)	
	ICT機器の整備と指導法の検討	(4)		キャリアパスポートのまとめ指導	(4)	
5月	卒業生の勤務状況等の把握	(2)	11月	課題の分析と課題解決の方策	(1)	
	企業訪問	(1)		アンケート、面談等による調査	(3)	
	個別面談・キャリアパスポート利用の指導	(4)		ICT機器の有効活用	(4)	
6月	企業訪問	(1)	12月	課題の分析と課題解決の方策	(1)	
	アンケート、面談等による調査	(1)		アンケート、面談等による調査	(3)	
	個別面談・キャリアパスポート利用の指導	(4)		研究協議会での報告準備	(5)	
7月	企業訪問	(1)	1月	調査研究のまとめ	(5)	
	アンケート、面談等による調査	(1)		調査研究の報告準備	(5)	
	個別面談・キャリアパスポート利用の指導	(4)		生徒(高2)の実態把握	(4)	
8月	企業訪問	(1)	2月	調査研究のまとめ	(5)	
	アンケートの取りまとめ	(1)		調査研究の報告準備	(5)	
	個別面談・キャリアパスポート利用の指導	(4)		生徒(高2)の実態把握	(4)	
9月	企業訪問	(1)	3月	調査研究の報告	(5)	
	課題の整理と分析	(1)		キャリアパスポート等の準備	(4)	
	ICT機器の有効活用	(4)				